

京都聖母学院幼稚園レゼセ

第2回「靴の履き方で育てる脳の空間認知力」

京都聖母学院幼稚園 教育顧問

医学博士 心療内科医

吉田たかよし

最新の医学研究をもとにお子さんの脳を育てる京都聖母学院幼稚園の「レゼセ」の取り組みをシリーズで解説していく動画を配信していますが、このコラムはその内容を文字でもお届けするものです。

興味を持たれた方は、ぜひ、動画をご視聴いただくことをおすすめします。

今回のテーマは、「靴の履き方で育てる脳の空間認知力」です。

幼いお子さんに対して、靴が一人で上手に履けるように指導することは、幼稚園にとってもご家庭にとっても、とても大事なことです。

保護者の方から、「どのように教えたら、子どもは早く一人で靴を履けるようになりますか？」という質問を受けることがよくありますが、私が強く申し上げたいのは、お子さんの脳を育てるという観点からいえば、大事なのは早く靴が履けるようになることではなく、靴を履くことを通して脳の空間認知力を効果的に育ててあげることなのです。

この世界はx軸、y軸、z軸という、3次元空間で成り立っています。

空間認知力というのは、3次元空間の中で、物体がどの位置にあるか、どんな形状をしているのか、どちらの方向に移動しているのかなどを認識する能力で、脳の中で頭頂連合野という部分などが中心になって生み出されるものです。

空間認知力は数学や科学技術など、理科系の学問に必要なのは以前からわかっていましたが、最近では思考力全般にも大きな影響を与えるということが解明されてきました。

お子さんが将来、理系はもちろん、文系に進む場合であっても、幼児の段階で空間認知力を育ててあげることが大事だということです。

空間認知力の基礎となるのが、右と左の概念なのです。

幼児の脳は4歳を過ぎたあたりから徐々に右と左の区別を認識できるようになりますが、脳の発達を促すうえで大事なのは、右と左の関係を頭で考えさせることを通して、空間認知力の効果的な発達につなげていくということなのです。

実は、そのために有力な手段となるのが、靴を履くトレーニングなのですね。

それは、どうしてなのでしょう？

脳の空間認知力を育てるうえで、特に大事なのが右と左が対称だという概念です。

右の靴と左の靴は、同じではありませんね。

でも、靴の底を合わせるとぴったり一致します。

これは大人にとっては当たり前でも、脳の頭頂連合野が発達途上にある幼児にとっては不思議なことなのです。

その感覚を大事にすれば、靴の履き方を学ぶプロセスを通して空間認知力が脳の中で効果的に育っていくわけです。

多くのご家庭では、「こっちが右の靴だから右足に履きなさいね！こっちが左の靴だから左足に履きなさいね！」と、やり方を一方的に教えて、靴を履かせようとしがちですよね。確かにこのやり方は、お子さんに早く靴を一人で履けるようになるという点ではいいかもしれせん。

でも、これでは空間認知力を育てる貴重な機会が十分に生かされません。

京都聖母学院幼稚園では、脳を育むレゼセの取り組みの一つとして、靴を履くということを通して左右の対称を学ばせる取り組みを行っています。

これは、ぜひ、皆さんのご家庭でも取り入れていただきたいことです。

具体的にはお子さんにどのように伝えたらいいのか、ご参考にしていただくため、解説動画では幼稚園での実際の映像を御覧いただけます。

また、靴を履くということ以外にも、右と左が対称だというのは、身近な生活の中でたくさんあります。

例えば、手も左右対称です。

耳も左右対称ですね。

それをお子さんなりに考えて見つけ出すということを見せてあげると、脳が刺激を受けて、お子さんは目をキラキラさせます。

こちらも、幼稚園での実際の映像を解説動画の中でご紹介しています。

動画をご覧いただくとお感じになると思いますが、寺井園長の声掛けで、お子様たちはすごく盛り上がっています。

これは、寺井園長の話し方がうまいということもありますが、左右対称を学ぶことが幼児の脳にとって大事だということを本能的に感じ取っているために、脳が興味を生み出すという作用も関係しています。

脳の中で左右を認識する能力が最も育つのが幼児の年齢です。

この段階で左右の対称に興味を持たせて空間認知力を刺激しておくこと、小学校のお受験はもちろん、中学受験や大学受験で問われる図形問題を解くためにも役立ちます。

そして最近の研究では、こうした空間認知力を高めることが、一見、まったく関係のないように感じられる思考力全般にも大きな影響を与えることもわかってきているのです。

同じ年齢のお友達より我が子が先に靴が履けるようになったら、親としては嬉しいですね。

靴を履けるようになるのが遅れたら、とっても心配でしょう。

これは親心としてよくわかりますが、お子様の将来のため脳の発達を考えれば、大事なものは速さを競うことではありません。

そのプロセスを通して、脳の空間認知力を育てることこそ大事です。

ぜひ、保護者の方も身近な生活環境の中で左右が対称であるということに関心を持っていただき、お子さんにいろんな問い掛けをしてあげてほしいと思います。